

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

## アブラハムへの

かみ

## 神さまのやくそく



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Byron Unger; Lazarus

かいさくしゃ

改作者: M. Maillot; Tammy S.

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2007 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



なが とき

大こうずいのと、いつのまにか長い時

けいかく

がすぎました。人々は、ある計画を

おも

思いつきましたよ。



「そうだ、みんなで天までとどくような高い  
高いとうのあるすばらしい町をつくろうでは  
ないか。」「いつも、みんなでいっしょにく  
らしていこうよ。」その時はね、人々は  
みんな同じことばを話していました。



かみ ひとびと かみ せかいじゅう す  
神さまは、人々が神さまのつくられた世界中のいろいろなところに住んでほし

おも なに  
いなくて思われました。そこで、また何かとくべつなことを  
なさいましたよ。とつぜん、人々が、それぞれにちがうこ

はな だ かみ あたら  
とばを、話し出したのです。神さまは、みんなに新

あた  
しいことばを、与えられたのです。



おな

はな ひと

ち

同じことばを話す人たちは、いっしょになって、ほかの地へうつっていきました。

なに はな

だってね、たぶんみんなは、おたがいに何を話しているかわからない人たちと  
いっしょにいるのが、こわくなってきたのでしょうね。



このようにして、神さまは、人々がいろいろな国におかみ かれて住めるように  
なさいました。人々が去っていった町は、バベルと呼ばれました。  
それはね、「こんらん」という意味なのですよ。ひとびと さ まち よ くに す い み



なんねん

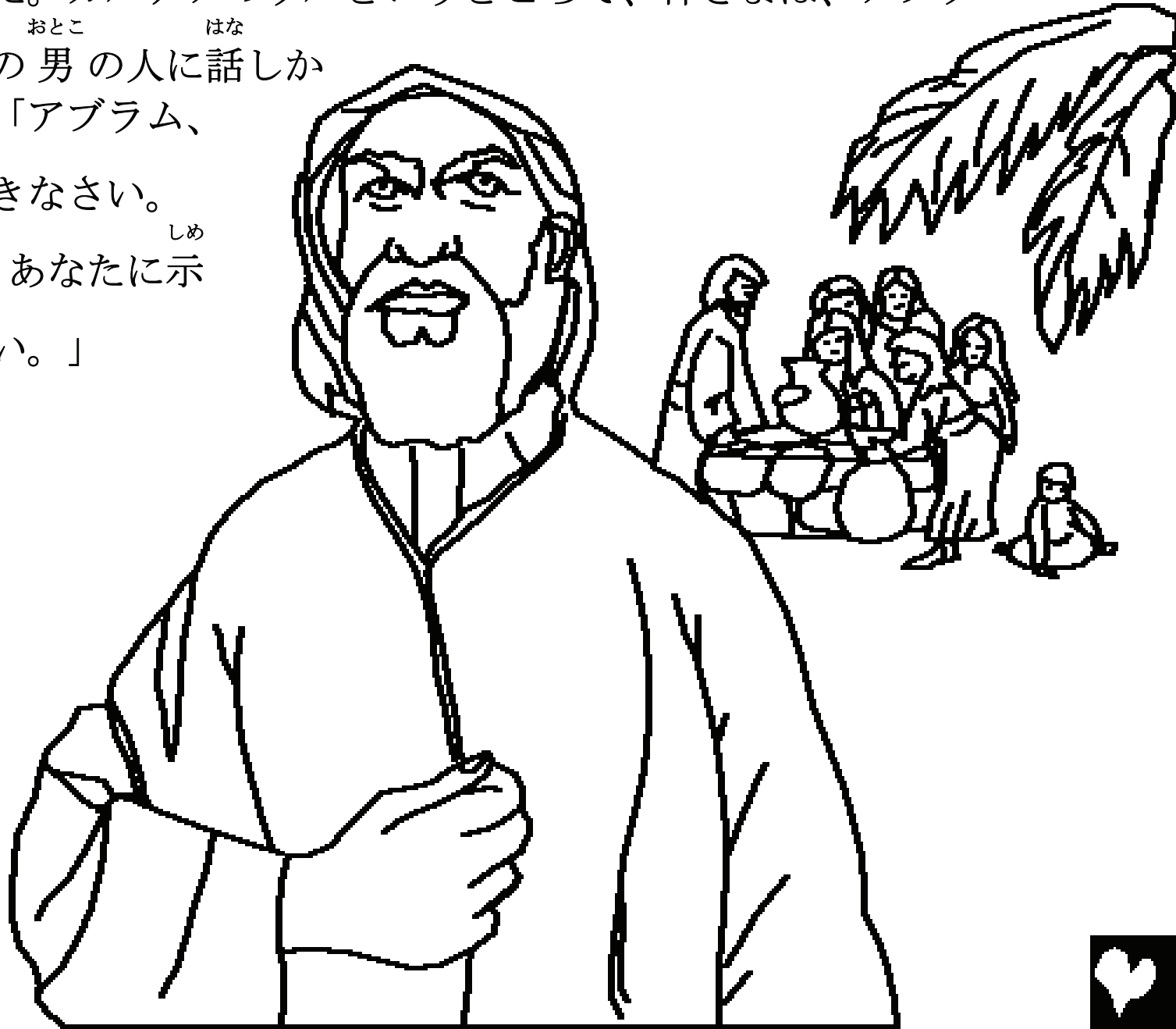
何年かたちました。カルデアのウルというところで、<sup>かみ</sup>神さまは、アブラ

ムというなまえの男の人に話しか

けられました。「アブラム、

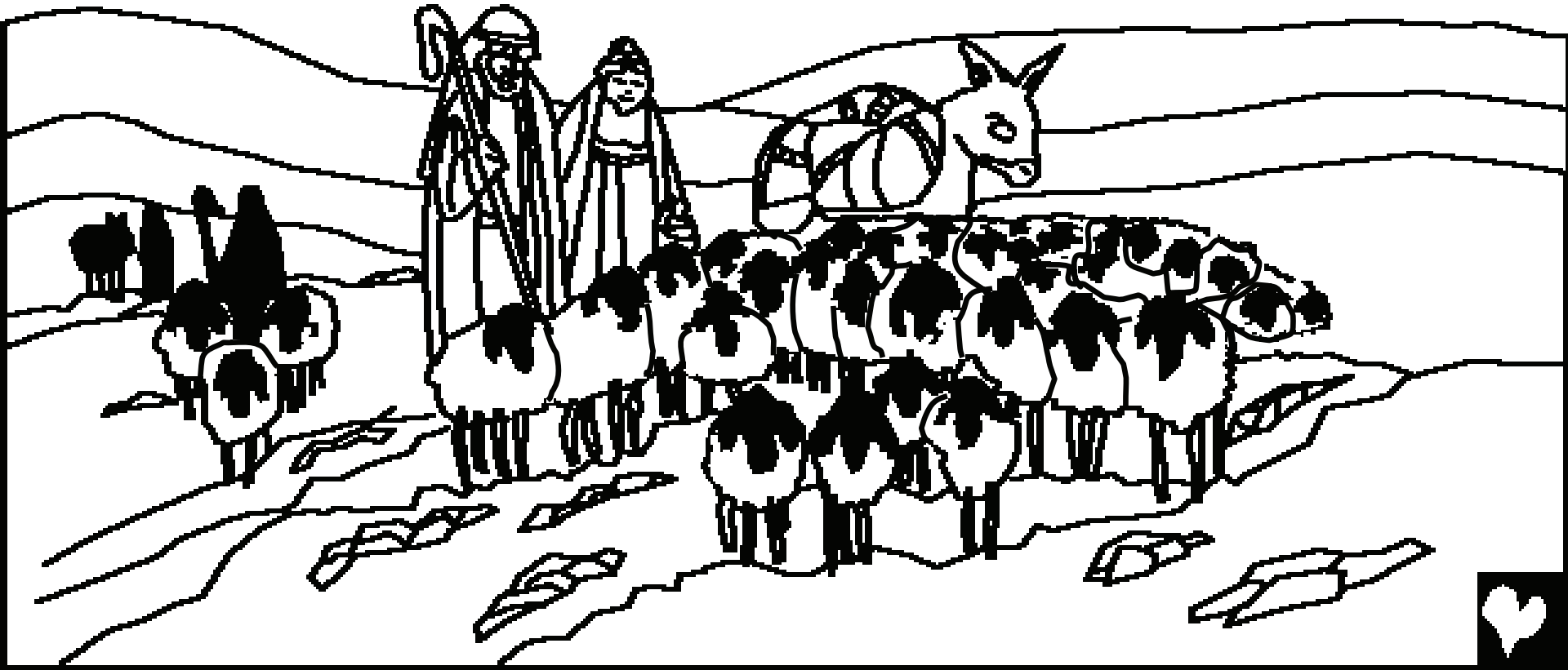
この地を出て行きなさい。そして <sup>わたし</sup>私 <sup>しめ</sup>が、あなたに示

す地へ行きなさい。」





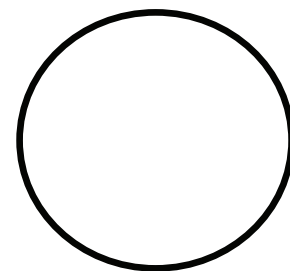
「はい、わかりました。」アブラムは、すぐしたがいました。神さまは、かれを  
カナンにつれていかれました。アブラムのつまサライと、おいのロトもいっしょ  
でしたよ。



カナンでは、アブラムもロトも、とてもゆたかにくらすようになりました。かれらは、たくさんの牛の群れをうし むかっていた。でもね、カナンにはそんなにたくさんの動物たちに食べさせる十分どうぶつ た じゅうぶん くさな草がなかったのです。

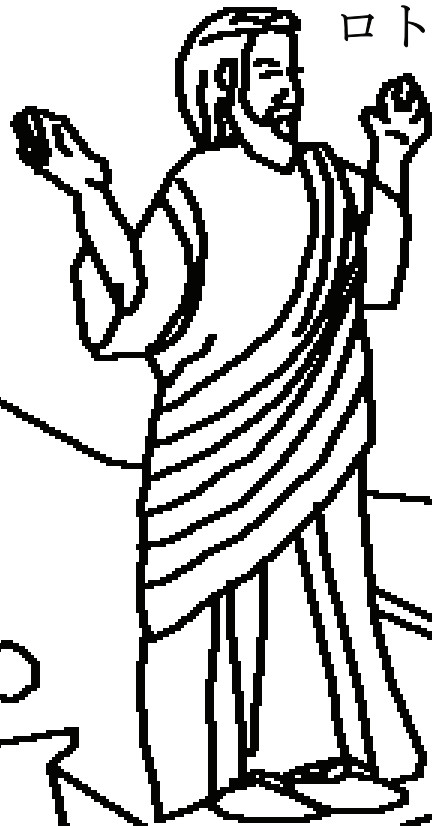


ある時、ロトの牛をせわする人たちと、アブラムの牛をせわする人たちが、けんかをしてしまいました。「もうかれらが、けんかをしないうにしなければ・・・。」そう思ったアブラムは、「わたしたちは、別れようではないか。さあ、ロト、あなたが先にすきな方の土地をえらんでいいのだよ。」と言いました。



まち 　むら　　あおあお　　くさ　　よ　と　ち  
ロトは、町や村に青々とした草がおおいしげっているとても良い土地  
を、えらびました。その土地は　ほんとうにすばらしく  
見えました。でも、じつは、その町はひどいところでした。  
悪がはびこっていたのです。





ロトがいなくなってから、神さまは、またアブラムに話しかけられました。「アブラム、私は、カナン<sup>はな</sup>のすべての地<sup>ち</sup>を、あなたとあなたの子供<sup>こども</sup>たちにあげよう！いつまでもね。」でも、アブラムとサライには、子供<sup>こども</sup>がいなかったのです。神さまは、<sup>かみ</sup> いったいどうやって、

<sup>おお</sup>  
そんな大きなや  
くそくを、まもる  
ことができるの  
でしょうか。





かみ                      さんにん  
神さまからの三人のみつかいが、アブラムとサライのところにやってきましたよ。  
みつかいたちは、言いました。「サライ、あなたにもうすぐ赤ちゃんが、  
う  
生まれるでしょう。」





かみ

神さまからのことばを、信じませんでした。だって、サライは、  
もう九 きゅうじゅう 十さいになっていたのですから。神さまは、またこう言われました。  
「アブラムは、これからアブラハム（さんび 賛美される父）と呼ばれるだろう。  
サライはサラ（おうじょ 王女）と呼ばれるだろう。」

サライはわらって、





かみ  
神さまは、またアブラハムに、  
あく ふた まち  
「悪がはびこっている二つの町、  
ソドムとゴモラをほろぼして  
い  
しまおう。」と言われました。  
でも、アブラハムのおい  
かぞく  
ロトとかれの家族は、  
す  
ここソドムに住んでいたのです。





いよいよ町がほろぼされるとき、  
ロトは、神さまからのちゆうこ  
くを信じ、ソドムの町を去りました。  
けれども、ロトのむすめの夫たちは、ソ  
ドムの町から去ろうとしません  
でした。ああ、なんてかなしい  
ことでしょう。かれらは、  
神さまからのことばをしん  
じなかったのですから。



ふたり

ただ、ロトとかれの二人のむすめたちだけ

あんぜん

安全なところに、たどりつくことができました。

ひ

あく

ものすごい火とイオウが、悪で

まち

いっぱい町を、すっ  
ぽりのみこんでしま  
いました。



かなしいことに、<sup>つま</sup>ロトの<sup>たす</sup>妻は、助かりませんでした。  
した。なぜって、<sup>かみ</sup>神さまの<sup>き</sup>ちゅうこくを聞か  
ないで、<sup>はし</sup>走っているとちゅうでうしろをふりかえってし  
まったからです。ロトの妻は、  
<sup>しお</sup>塩のはしらになってし  
まったのです。



しゅ かみ  
主なる神さまは、アブラ  
ハムとサラのやくそくを、  
きちんとまもられましたよ。  
そうです。かれらは、  
とし  
とても年をとっていた  
のですけれど、子ど  
こ  
もが生まれたのです。  
かみ い  
神さまが言われ  
ていたようにね。  
う  
イサクが生まれたとき、  
アブラハムとサラは、  
どんなにかうれしかった  
ことでしょう。



たぶん、このときアブラハ  
かみ まえ  
ムは、神さまが前にアブラハムに  
い こ  
言われたこと、かれと子どもたち  
ち  
にカナンの地をえいきゆうにくだ  
おも だ  
さるというやくそくを、思い出し  
かみ  
たでしょう。神さまは、そのや  
くそくもまた、まもってく  
ださるでしょう。

かみ  
そう、神さまはね、  
やくそくしたことは、  
いつもちゃんとまもってくださ  
るのですよ。



かみ  
アブラハムへの神さまのやくそく

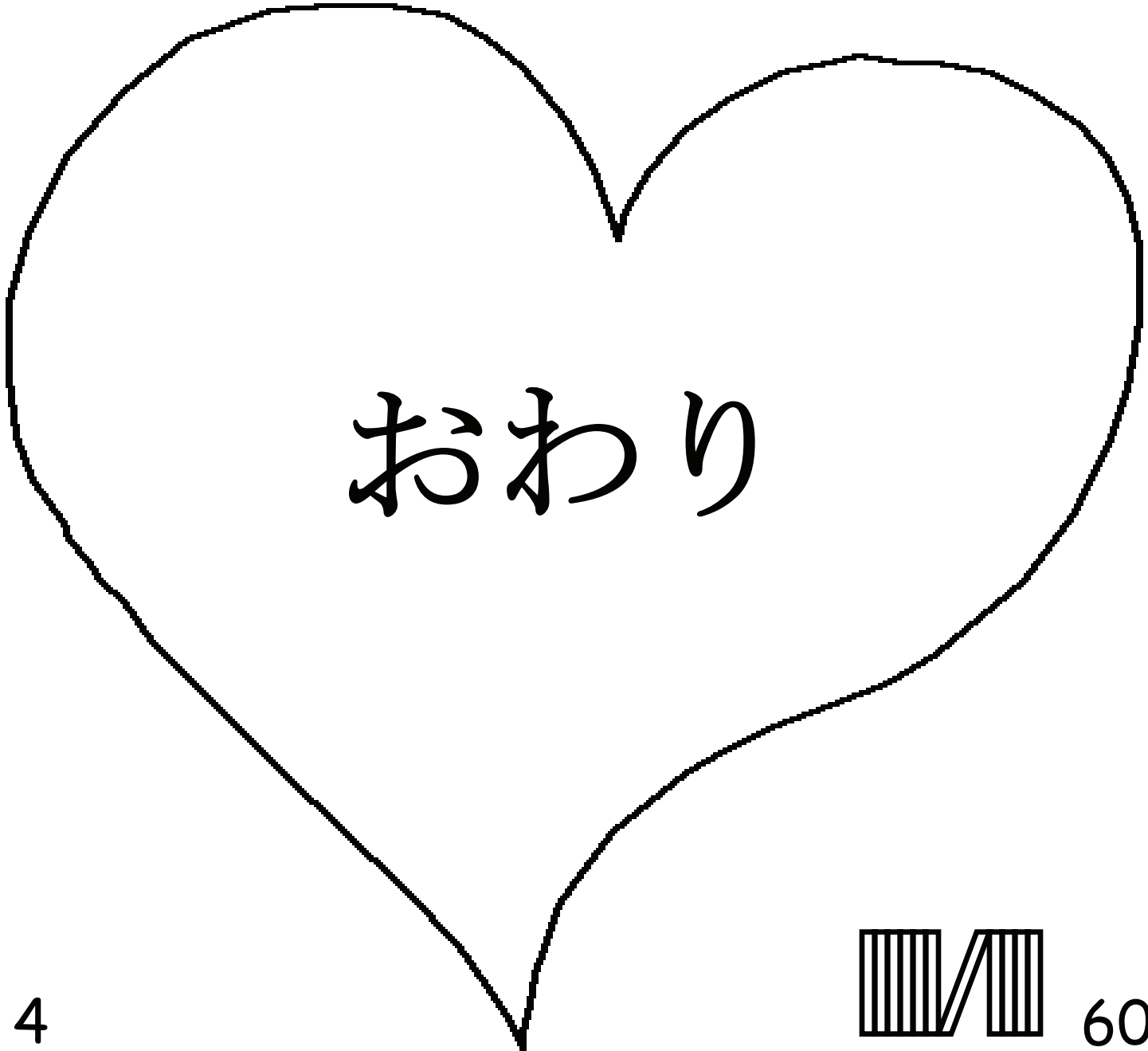
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう  
創世記 11 章 -21 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130

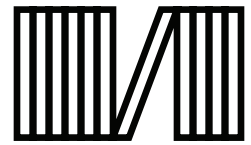




おわり



4



60



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しっていらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ  
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今、あなたの所へ来て、あなたのこころの中に住んでくださいます。そして、いつまでもいエスさ  
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ  
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
いらっしゃいます。どうか、私のこころの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた  
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにい  
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができますよう、たす  
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

